

## 事業の整理と評価について

### ◆背景

永田浜ウミガメ保全協議会は設立以降、観察ルールの策定やウミガメシーズンにおける保護柵の設置を通して、永田浜やウミガメの繁殖環境の保全に寄与してきた。

しかし、近年は保全活動等において重要な役割を担ってきた NPO 法人の活動休止をはじめ、永田浜をめぐる状況は転換期にある。そこで、まずは関係機関で現状を認識し、保全協議会の活動をさらに充実させていくことで、この転換期を克服することとした（平成 28 年度）。

平成 28 年度に引き続き、平成 29 年度は各活動や事業の整理及び必要度などの評価を行う。なお、必要に応じて事業の役割分担を早急に行い、平成 30 年度から試行していくこととしたい。

※保全協議会として実施すべきものと各機関が独立して実施すべきものとわかる。

### ◆内容

#### (第 2 回)

- ・ NPO 法人屋久島うみがめ館の事業を含めた各事業のリストアップ
- ・ リスト内容について追加、修正、削除の検討
- ・ 評価方法の認識共有
- ・ 各事業の必要度、対応状況、緊急性の評価
- ・ リストのうち、必要度と緊急性の高いものについて実施者を協議

#### (第 3 回)

- ・ 必要度（◎）、緊急性（高）と評価された事業について詳しい内容を協議
- ・ 緊急性の低いものについても可能な限り対応を協議

#### ※評価方法について※

【必要度】 3段階評価（◎～△）、保全協議会として実施することが必要か。

◎：保全協議会として実施することが強く求められる。

○：保全協議会として可能な限り実施することが求められる。

△：保全協議会としての役割は小さい。

【対応状況（保全協議会）】 3段階評価（○～×）、

○：挙げた内容に関して、大部分についてすでに実施している。

△：挙げた内容に関して、一部分についてすでに実施している。

×：挙げた内容に関して、ほとんど実施していない。

【緊急性】 2段階評価（高、低） ※高について平成 30 年度実施

高：重要度が高いが対応状況が悪く、一部分でも現実的に取り組むことが可能。

低：高以外に該当するもの。